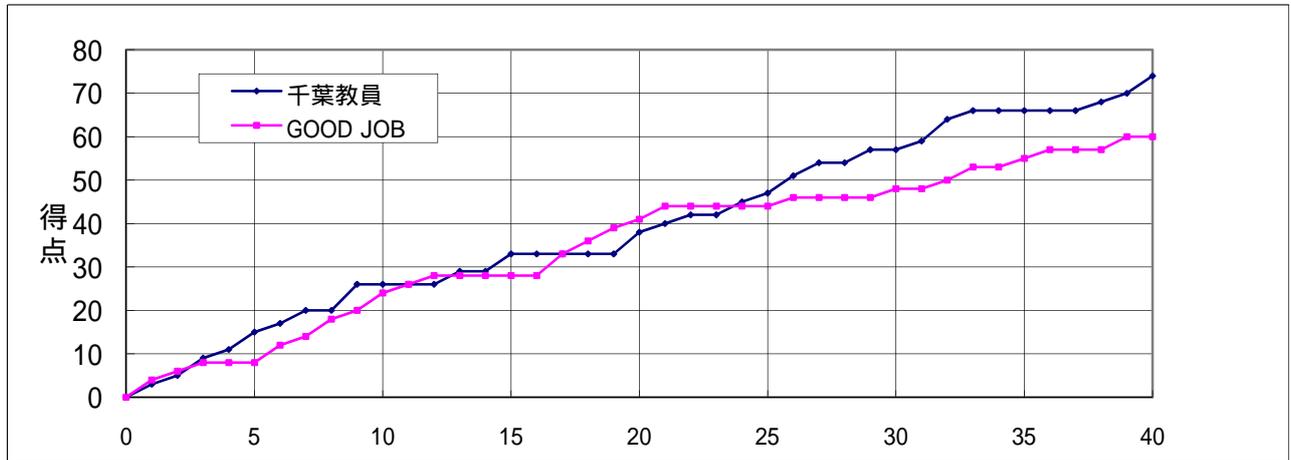


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	12E3	13:30	女子決勝															
	期日	2010年(平成22年)8月12日(木)		千葉教員 74 (千葉県)	<table border="1"> <tr><td>26</td><td>-</td><td>24</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>7</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table> 60 GOOD JOB (東京都)	26	-	24	12	-	17	19	-	7	17	-	12	-	-
26	-	24																	
12	-	17																	
19	-	7																	
17	-	12																	
-	-	-																	
会場	下松スポーツ公園体育館		主審 松本隆志 副審 小坂井郁子																



1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
16:12	17:48	-	-	-	-	-

千葉教員									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 三木清香 (C)	3	0	1	1	0	2	3	
5	* 桑原美和	16	2	5	0	4	4	4	
6	中田典子	2	0	0	2	2	1	0	
7	* 政木美希	20	3	5	1	0	4	4	
8	* 野村由希	15	1	5	2	2	9	0	
9	荒木春華	0	0	0	0	0	1	0	
10	渡部優希	7	1	2	0	3	2	1	
11	西村希望	-	-	-	-	-	-	-	
13	横倉安美	0	0	0	0	2	0	0	
15	* 鈴木麻友美	11	1	4	0	2	15	0	
コーチ	横山廣美								
	合計	74	8	22	6	15	38	12	

1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
04:48	13:28	25:08	35:54	38:57	-	-

GOOD JOB									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	越智朋子 (C)	0	0	0	0	0	1	0	
5	富中亜貴子	-	-	-	-	-	-	-	
6	* 小田桐朋美	18	0	7	4	3	4	3	
7	* 伊藤奈々	12	2	2	2	1	1	1	
8	清水萌	6	0	2	2	3	6	0	
9	* 結城葉月	4	0	2	0	3	4	0	
10	* 葛西亜季子	16	1	6	1	1	4	1	
11	* 石塚智佳	4	0	2	0	2	2	2	
12	志水麻衣	-	-	-	-	-	-	-	
13	田澤茜	-	-	-	-	-	-	-	
14	柿崎優子	-	-	-	-	-	-	-	
15	国保美紀	-	-	-	-	-	-	-	
16	今西智津子	-	-	-	-	-	-	-	
17	小野里実	-	-	-	-	-	-	-	
18	吉宇田和泉	-	-	-	-	-	-	-	
コーチ	八木陽子								
	合計	60	3	21	9	13	22	7	

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

### 戦 評

千葉は5連覇、東京は22年ぶり8度目の優勝がかかった決勝戦。両チームハーフコートのマンツーマン。今大会両チームとも4試合目になるがお互い疲れを見せない攻撃で点の取り合いとなる。東京はドライブやインサイドから、千葉は外からのシュートで得点していく。東京の#7が厳しいマークで得点できず、千葉がリードを広げ15-8。その後、東京は#7からボールを散らしリズムをつかみ得点を重ねる。千葉も#7、#8の3Pでつなぎ、26-24で1Q終了。2Q、東京が#6の連続得点で逆転するが千葉#5の3Pが決まり再逆転。残り4分東京#8のバスケットカウント、#7のフリースローで追いつき、東京待望の#7の3P、#10のジャンプシュートで、流れは一気に東京かと思われたが、千葉の#4、#7の3Pで連続得点。38-41で後半へ。3Q、東京に疲れがみえ始め、ファウルが増え3連続フリースローを与える。東京はシュートが入らない。千葉は#15の得点で逆転する。千葉は勢いに乗りディフェンスでプレッシャーをかけ、#4のダイビングしながらのルーズボールからの得点でさらに勢いに乗り、この試合初めて10点差がつく。東京は3Qを7点に押さえられ、57-48で3Q終了。4Qの立ち上がり、千葉#15の2P、#5の3Pで連続得点し、14点差となる。東京も驚異の粘りを見せ、#7、#10、#8の3連続得点で食い下がる。しかし、千葉のディフェンスが崩せない。#7、#10が3Pを試みるが入らず74-60千葉Aが5連覇を達成した。

記者	網本 昇 (所属) 山口県バスケットボール協会
----	-------------------------